

市内移動手段に関するアンケート調査結果(追加分析)

外出用件別に捉えた傾向

■追加分析の概要

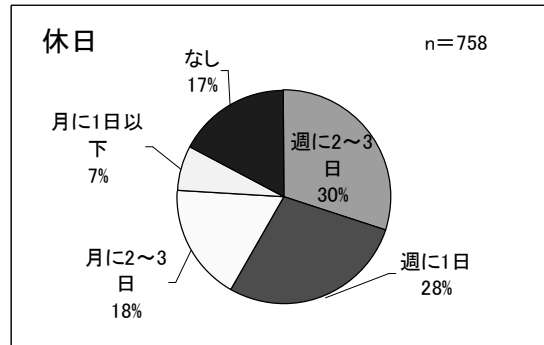
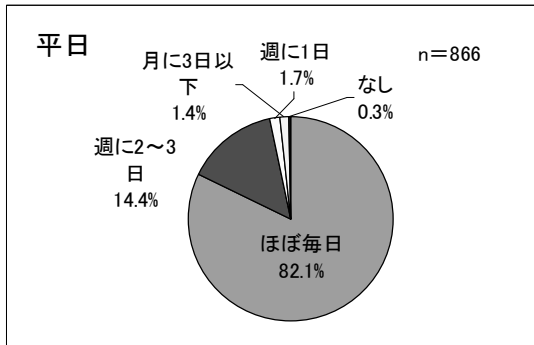
- ・問1の「日常生活の行動パターン」に関する設問で、「最も多く外出した用件」、「二番目に多く外出した用件」、「三番目に多く外出した用件」を全て対象として、「通勤通学」など各用件別に主要な設問の集計・分析を行った。

■移動実態に関する主な結果

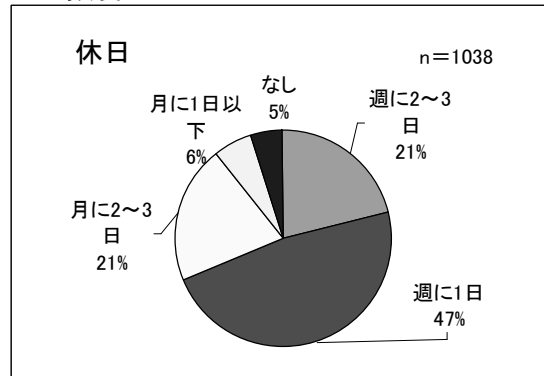
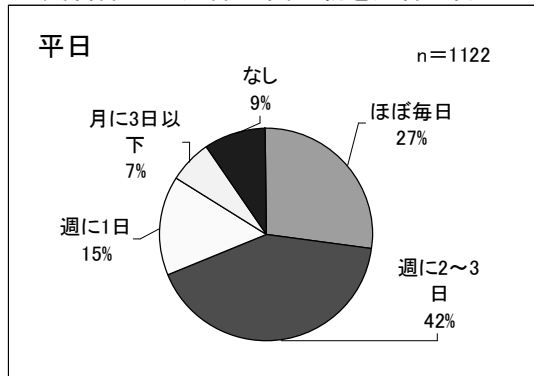
(1) 外出頻度

- ・「通勤通学」の頻度が高く、平日は「ほぼ毎日」が8割以上。次に外出頻度が高いのは「食料品や日用品の買い物」で週に2～3日が4割以上。次いで「習い事・塾・趣味」、「通院」、「娯楽・レジャー」、「日用品以外の買い物」と続く。

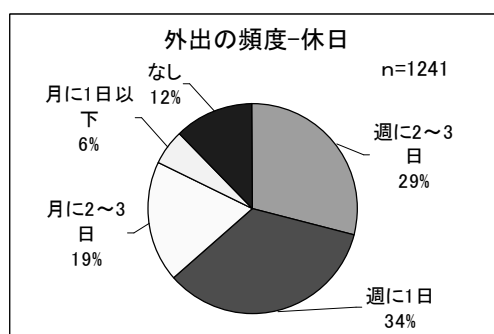
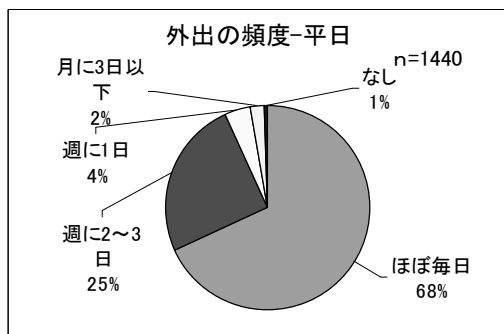
○通勤通学を用件と答えた人の外出頻度



○食料品や日用品の買い物を用品と答えた人の外出頻度



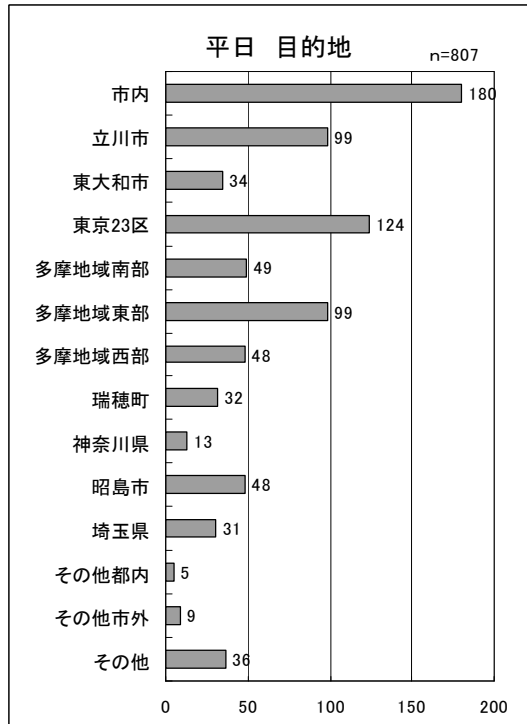
(参考) 最近三ヶ月で最も多く外出した用件の外出頻度(前回会議資料「資料 2-4」より)



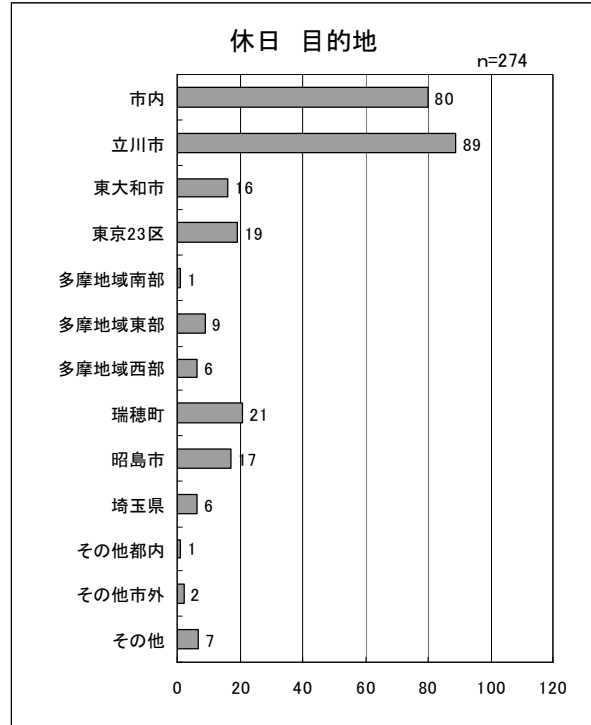
(2) 目的地

- ・「通勤通学」の平日では「市内」に次いで「東京23区」「多摩地域東部」「立川市」が多い。
- ・「食料品及び日用品以外の買い物」の休日は「立川市」が最多で「市内（イオンモール）」が次に多い。（「食料品及び日用品の買い物」は「市内（イオンモール）」が圧倒的に多い。）
- ・「通院」や「習い事・塾・趣味」は「市内（榎）」が多く、次いで「立川市」が多い。
- ・「娯楽・レジャー」の休日は「市内（イオンモール）」と「立川市」が同じくらい多い。

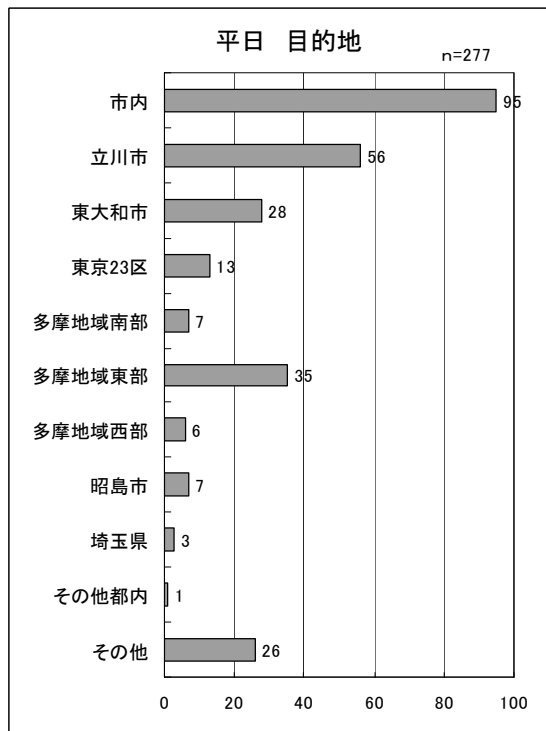
○通勤通学を要件と答えた人の目的地(平日)



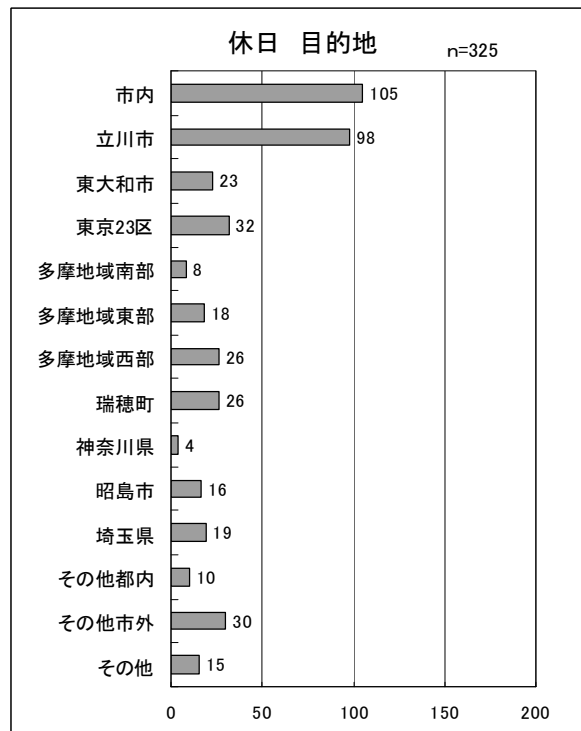
○食料品や日用品以外の買い物を要件と答えた人の目的地(休日)



○通院を要件と答えた人の目的地(平日)



○娯楽・レジャーを要件と答えた人の目的地(休日)

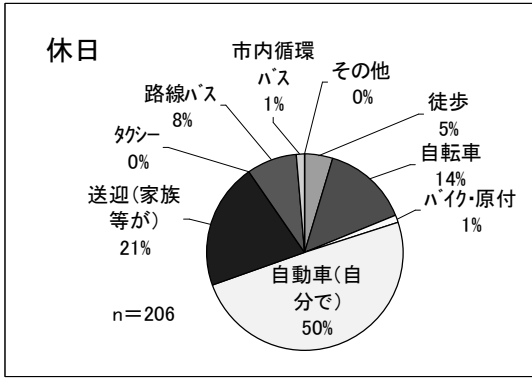


(3) 移動手段

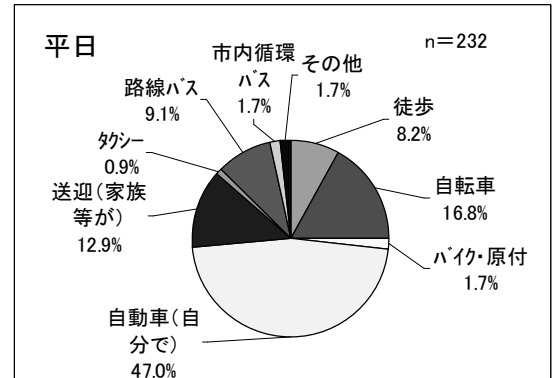
1) 鉄道を利用しない場合

- ・「自分で自動車を運転」が半数以上という傾向は用件によって違いは見られないが、「日用品以外の買い物」や「通院」では「家族等による送迎」が比較的多くなっている。

○食料品や日用品以外の買い物を用件と答えた人の鉄道を利用しない場合の移動手段(休日)



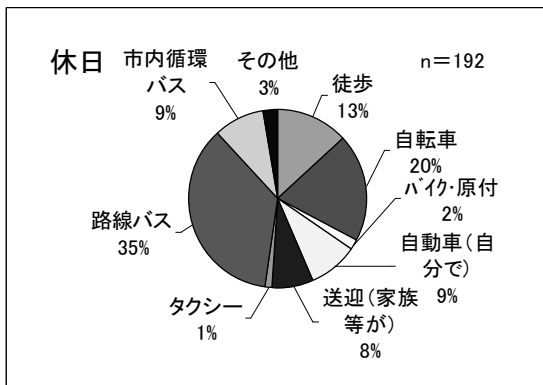
○通院を用件と答えた人の鉄道を利用しない場合の移動手段(平日)



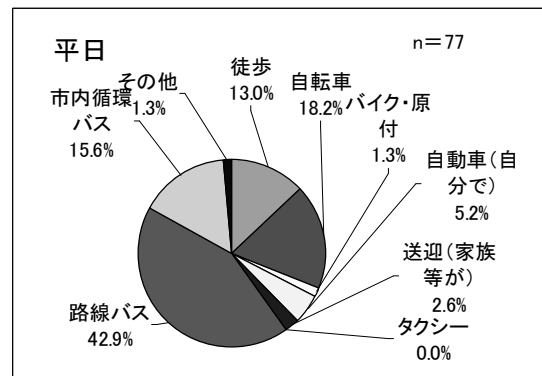
2) 鉄道を利用する場合

- ・全般的に「自転車」が約半数を占め、「路線バス」が約2割で続く。「日用品の買い物」や「通院」では「路線バス」が最多(4割前後)となっており、その他の用件では、「自転車」と「路線バス」が同程度(約3割)となっている。

○食料品や日用品の買い物を用件と答えた人の鉄道を利用しない場合の移動手段(休日)



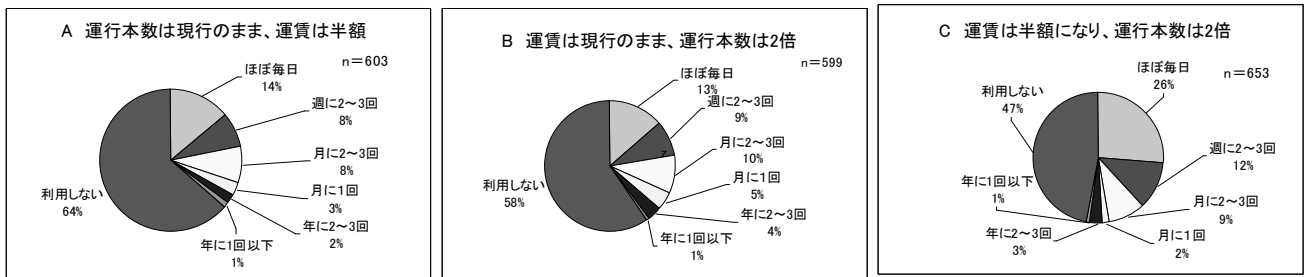
○通院を用件と答えた人の鉄道を利用する場合の移動手段(平日)



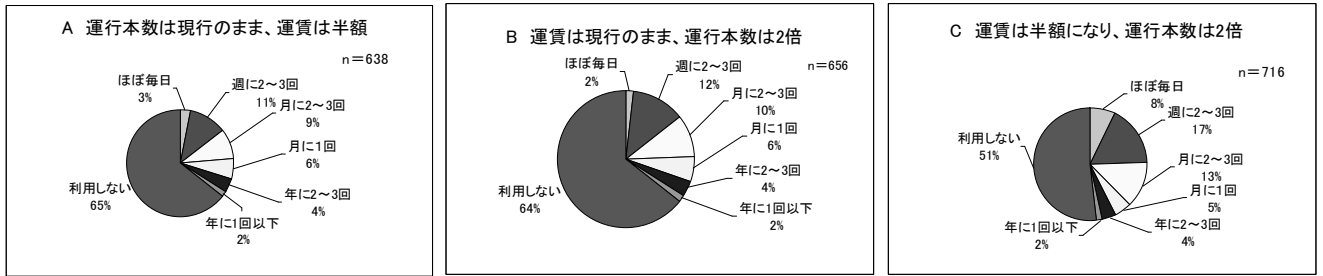
■ バスサービスのあり方についての主な結果

- ・ バスの利用頻度の変化をみると、用件を通勤通学に限定した方が、全体でみるよりも、運賃半額や運行本数2倍の施策により利用頻度が上がる傾向が見られる。
 …「運賃は現行のままだが、運行本数は2倍になる」場合、少しでも利用すると回答した割合が、全体では37%だったのが、通勤通学限定では42%となっている。
- ・ 買い物については、食料品や日用品の買い物では傾向の変化は見られないが、それ以外の買い物では、通勤通学と同様に、限定した方が全体に比べて施策の効果が高い傾向がみられる。
 (全体48%→食料品・日用品以外の買い物限定43%)
- ・ 通院については、全体では31%だったのが、通院限定では41%となっている。
- ・ 習い事・塾・趣味については、全体では26%だったのが、習い事・塾・趣味限定では42%となっている。
- ・ 娯楽・レジャーも若干ではあるが増えている。

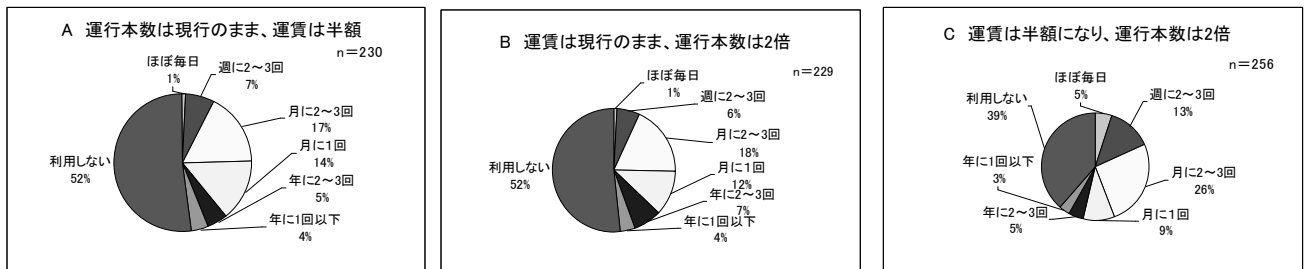
○通勤通学を用件と答えた人のバスの利用頻度が上がる条件



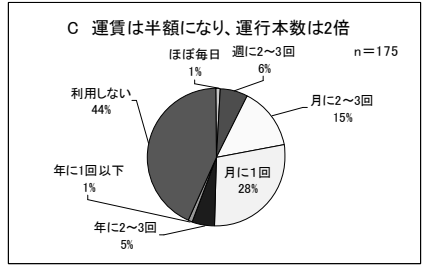
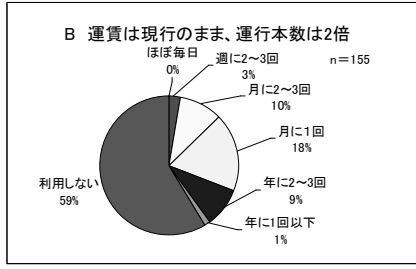
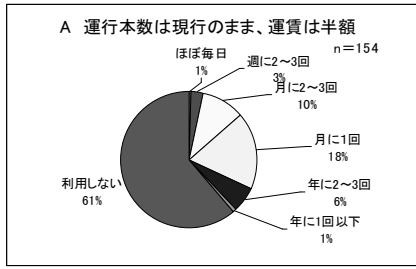
○食料品や日用品の買い物を用品と答えた人のバスの利用頻度が上がる条件



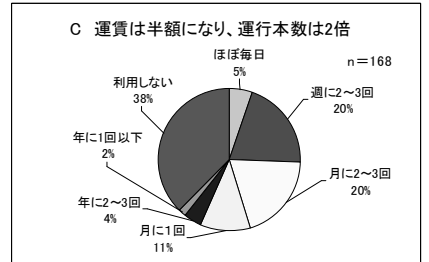
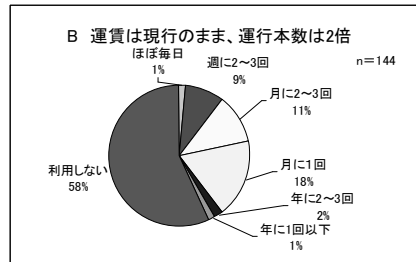
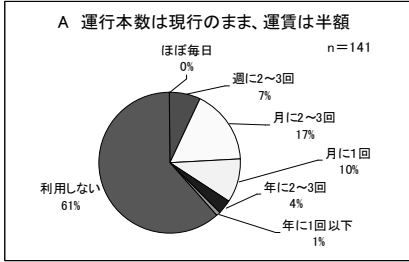
○食料品や日用品以外の買い物を用品と答えた人のバスの利用頻度が上がる条件



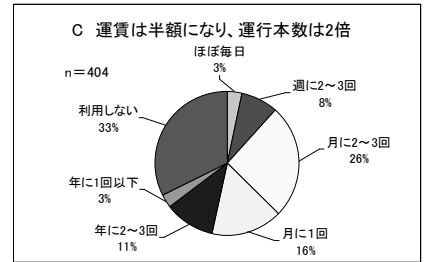
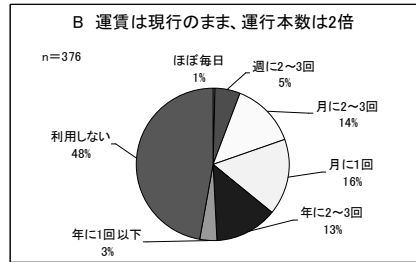
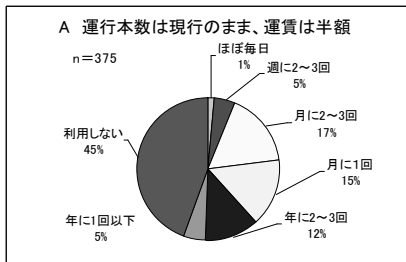
○通院を要件と答えた人のバスの利用頻度が上がる条件



○習い事・塾・趣味を要件と答えた人のバスの利用頻度が上がる条件

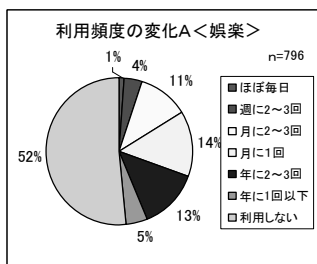
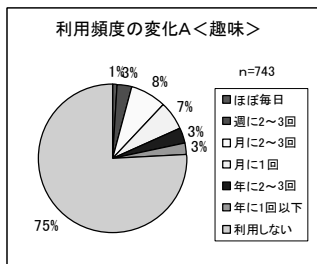
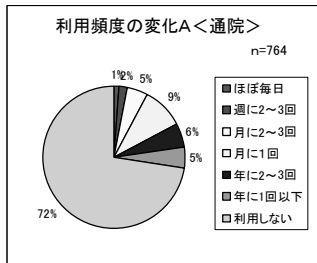
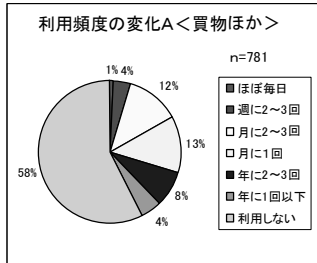
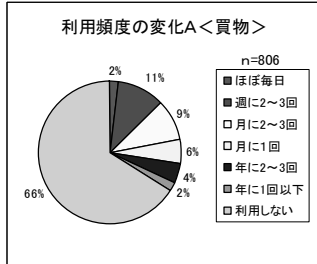
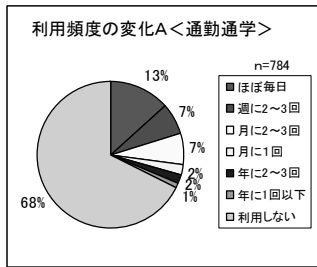


○娯楽・レジャーを要件と答えた人のバスの利用頻度が上がる条件

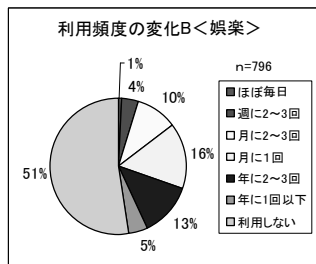
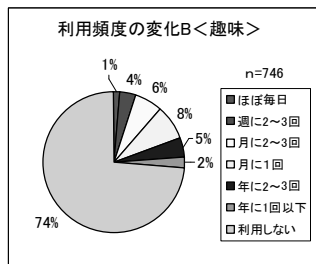
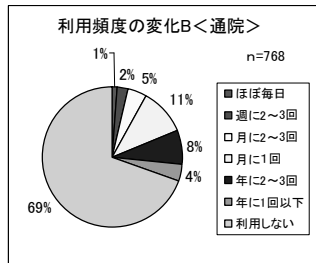
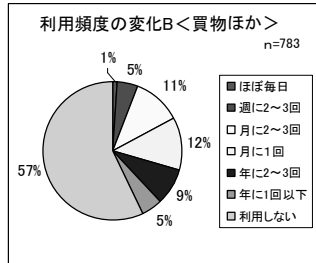
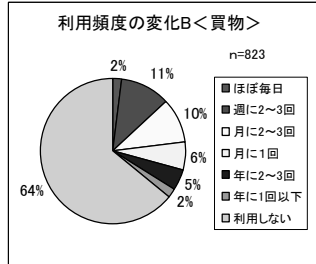
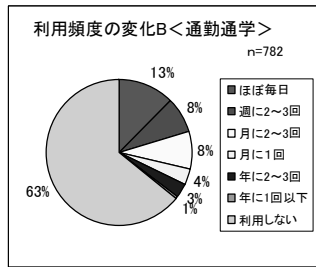


(参考)バスの利用頻度が上がる条件(前回会議資料「資料2-4」より)

A. 運行本数は現行のままだが、運賃は半額になる



B. 運賃は現行のままだが、運行本数は2倍になる



C. 運賃は半額になり、運行本数は2倍になる

